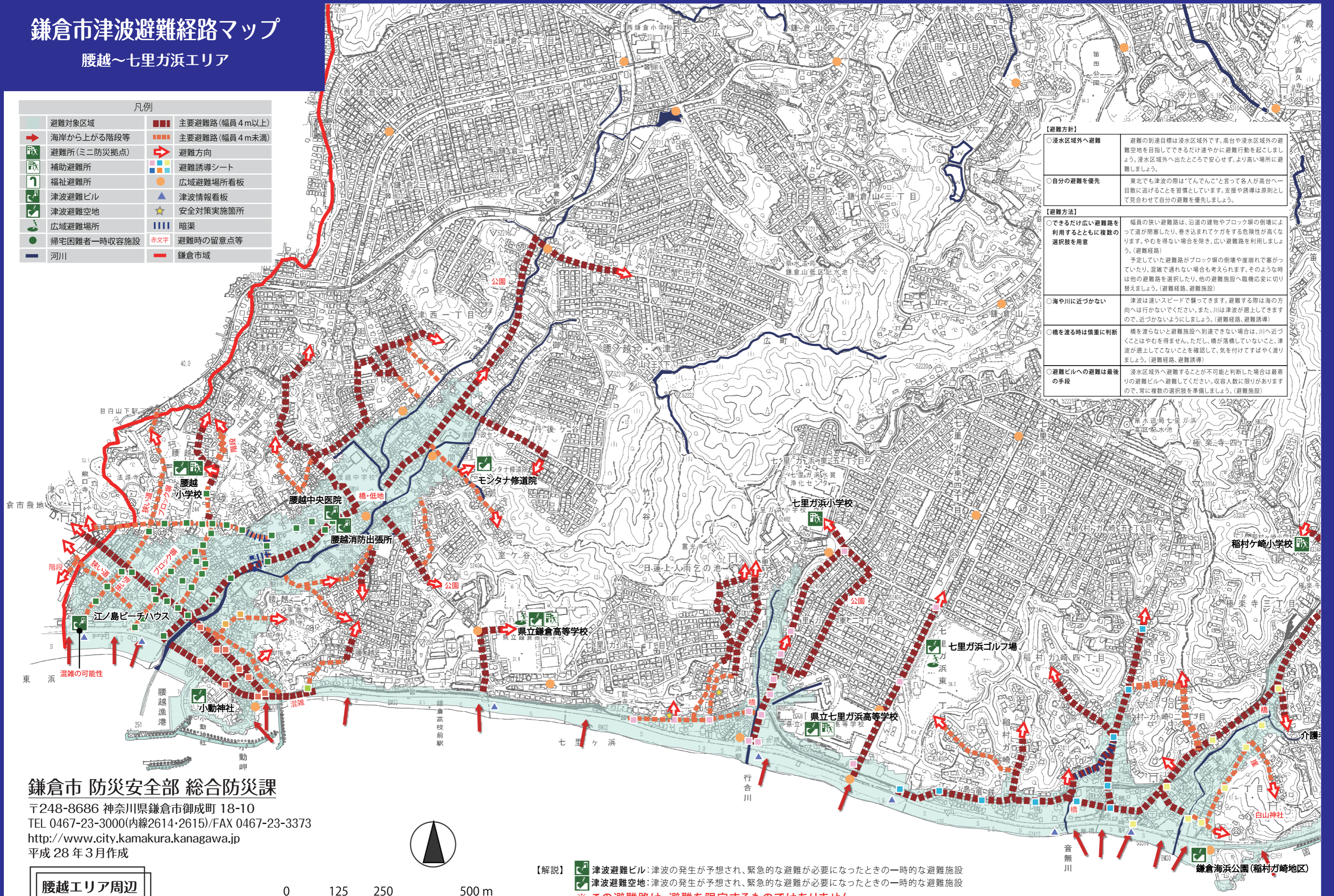


鎌倉市津波避難経路マップ

腰越～七里ガ浜エリア

凡例	
避難対象区域	主要避難路(幅員4m以上)
海岸から上がる階段等	主要避難路(幅員4m未満)
避難所(ミニ防災拠点)	避難方向
補助避難所	避難誘導シート
福祉避難所	広域避難場所看板
津波避難ビル	津波情報看板
津波避難空地	安全対策実施箇所
広域避難場所	暗渠
帰宅困難者一時収容施設	赤文字
河川	避難時の留意点等
	鎌倉市域

【避難方針】	
○浸水区域外へ避難	避難の到達目標は浸水区域外です。高台や浸水区域外の避難空地を目指してできるだけ速やかに避難行動を起こしましょう。浸水区域外へ出たところで安心せず、より高い場所に避難しましょう。
○自分の避難を優先	東北でも津波の際は“でんでんご”と言って各人が高台へ一目散に逃げることを習慣としています。支援や誘導は原則として見合わせて自分の避難を優先しましょう。
【避難方法】	
○できるだけ広い避難路を利用するとともに複数の選択肢を用意	幅員の狭い避難路は、沿道の建物やブロック塀の倒壊によって道が閉塞したり、巻き込まれてケガをする危険性が高くなります。やむを得ない場合を除き、広い避難路を利用しましょう。(避難経路) 予定していた避難路がブロック塀の倒壊や崖崩れで塞がっていたり、混雑で通れない場合も考えられます。そのような時は他の避難路を選択したり、他の避難施設へ臨機応変に切り替えましょう。(避難経路、避難施設)
○海や川に近づかない	津波は速いスピードで襲ってきます。避難する際は海の方へは行かないでください。また、川は津波が遡上してきますので、近づかないようにしましょう。(避難経路、避難誘導)
○橋を渡る時は慎重に判断	橋を渡らないと避難施設へ到達できない場合は、川へ近づくことはやむを得ません。ただし、橋が落壊していないこと、津波が遡上してこないことを確認して、気を付けてすばやく渡りましょう。(避難経路、避難誘導)
○避難ビルへの避難は最後の手段	浸水区域外へ避難することが不可能と判断した場合は最寄りの避難ビルへ避難してください。収容人数に限りがありますので、常に複数の選択肢を準備しましょう。(避難施設)



鎌倉市 防災安全部 総合防災課

〒248-8686 神奈川県鎌倉市御成町 18-10
 TEL 0467-23-3000(内線2614・2615)/FAX 0467-23-3373
<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp>
 平成 28 年 3 月作成

腰越エリア周辺

【解説】
 津波避難ビル: 津波の発生が予想され、緊急的な避難が必要になったときの一時的な避難施設
 津波避難空地: 津波の発生が予想され、緊急的な避難が必要になったときの一時的な避難施設
 ※ この避難路は、避難を限定するものではありません。